



仲よく やりぬく たくましい子

令和3年(2021年) 1月18日発行 文責 校長 山本 剛

六年生は一日一日を大切にしてお終の美を飾ろう。

下級生は、感謝の気持ちで六年生を送り出そう。

三学期が始まって、二週間が経過しました。三連休前には暴風や大雪警報が発令されるかもしれないという情報もあり、とても登下校を心配しました。今回、高島市は大雪にはなりませんでしたが、福井県の嶺北、富山、新潟、秋田県等では平年の数倍の積雪になっている所もあります。まだまだ、冬は長いので警戒が必要です。また、気温が上昇せずマイナス4℃を記録した日もありました。給食車の通行の融雪のために出しておいた地下水が凍ってしまい、厚さ1.5cm程の水が正面玄関の一部や職員駐車場にはってしまいました。その氷を割って取り除くのに苦勞しました。通学路においても雪がなくても、凍結していることがあるので、歩行には十分注意をしてほしいと思っています。

さて、三学期の始業式では以下のようなことを、ZOOMを使って、教室の子ども達に伝えました。

【始業式校長講話概略】

6年生は、自分の発する言葉や行動が最上級生として、さらには「青柳の顔」としてふさわしいかをもう一度考え意識してください。そして一日一日を大切にしてお終、卒業に向けて有終の美を飾ってほしいです。

5年生は、4月より「青柳の顔」になることと、6年生を感謝の気持ちをもって送り出すことを意識して学校生活を送ってほしいです。

中学年、低学年の人は4月には28名の1年生が入学する予定です。立派な見本となるよう行動してほしいです。

最後に、次の三つのことも大事にして三学期を過ごしてください。

- 大きな声で自分からあいさつをすること。
- 人の話をしっかりと最後まで聴くこと。
- 自分の夢や目標を簡単に諦めないこと。

寒い中、一生懸命に「縄跳び」に頑張っています。

寒い体育館で長休みや昼休みに、縄跳びに一生懸命に取り組んでいます。今年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため、曜日や時間によって使用できる学年を決める等の制限をして取り組んでいます。

先週の昼休みに低学年の男子児童が、「校長先生、新しい縄跳びの縄を買ってもらった。」と言って嬉しそうに見せてくれました。私は「それは良かったのう。それやったら、余計に練習を頑張らんなあ。」と答えました。そうすると「うん」と返事をして練習を始めました。一回目で、見事に「あや跳び」を二十数回、連続で成功させました。跳び終わった後の、満足そうな表情がとても印象的でした。さらに向上心をもって技を磨いてほしいと思っています。

また、上学年の人が下学年の人に技を教えている姿も見られます。上学年の高度な技を見ながら、「私も、早く〇〇ちゃんのように跳びたい。」と憧れの表情で技を見て、こつを教えてもらいながら練習に取り組んでいる姿が微笑ましいです。2月1日～5日に実施予定の縄跳び大会に向けて、「8の字跳び」を頑張っている姿も見られます。

寒くて凍るような体育館ですが、一生懸命に頑張っています。

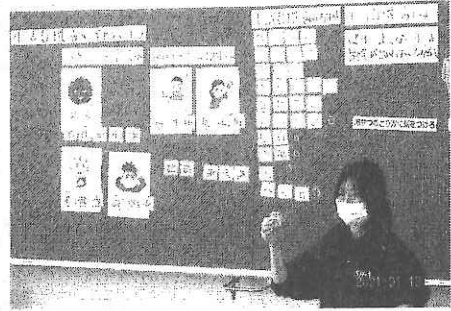
6年生「生活習慣病」について学習する

1月13日（水）に6年生は、学級活動の時間に「生活習慣病」について学習しました。

当日は、まず養護教諭から「生活習慣病」の種類、原因等について学びました。

その後、安曇川中学校の松宮栄養教諭より「生活習慣病」は食にかかわることが非常に大きいということで、その予防方法について手作りの模型や具体物を示して教えていただきました。「食」の大切さを改めて感じてくれたと思います。

当日の学習内容の一部を紹介します。



○生活習慣病とは

「健康に良くない生活で起こる病気」

○生活習慣病の種類

糖尿病・心臓病・悪性新生物・脳卒中・歯肉炎・高血圧・肥満 等

○三大生活習慣病

悪性新生物（日本人の死因の第1位）・心臓病（第2位）・脳卒中（第3位）

○生活習慣病の原因

睡眠不足・ストレス・食べ過ぎ・脂肪、砂糖、塩分の取りすぎ・偏食（好き嫌い）

喫煙・飲酒・運動不足 等

○食で意識すること

肉ばかり食べるのではなく、魚を（特に青魚）食べ、DHAやEPAを摂る

納豆などの、大豆を原料にした食品やヒジキ等の海藻類を食べる

生野菜だけではなく、根菜類の野菜をとり食物繊維を摂取する

○生活習慣病を防ぐために大切なこと

偏らない食事、適度な休養と睡眠、適度な運動を意識して生活すること

青柳小の伝統・卒業制作の取組始まる

今年も、6年生が卒業するお返しに手作りの卒業制作を学校に寄付してくれます。先日、担当の人が「学校にどんなものがあったら便利か、絵を入れて考えてほしい。」と来てくれました。

毎年、紹介していますが本校では様々な場所に歴代の卒業制作が残されています。特に特徴的なことは校舎内外に、実用的な卒業制作があることです。

○児童昇降口に設置されている、傘立てと一輪車置き

○体育館で跳び箱やマットを運搬できるキャスター付きの手押し台

○各教室に設置できる、ペットボトル2本を活用した加湿器

○校舎正面の花壇に設置されている、プランターや花を飾るための鉢を置く台

○プールに設置されている、水泳をする時のバスタオル掛け 等々

昨年度も紹介しましたが、学校を訪問された方が実用的な卒業制作がたくさんあることに感心され、歴代の作品の一部を写真に撮っておられました。

例えば、今年度コロナウィルス感染症拡大防止のために各教室に既製品の加湿器を設置しています。同時に、卒業制作品のペットボトルを利用した加湿器も設置しています。確かに、既製品の方が加湿の効力は高いし、機能的だと思います。でも、手作りの加湿器には、何か温かみや愛着を感じます。そして、何より歴代の卒業生とのつながりを感じます。このことは、在校生に愛校心や物を大切にする気持ちを自然と育てているように感じています。（※用途は鑑賞用ではありませんが、敢えて制作と表現しました。）